

いのち
守れる「**生命**」が
そばにあると知ったら
あなたは どうしますか？



美しい海洋環境を次世代に残し、ウミガメを絶滅させないため、
保全活動にご協力お願い致します。
ELNAの保全活動は、皆さまからの暖かい
ご支援によって支えられています。

【個人賛助会員】5,000円(年会費)

賛助会員に入会していただいた皆さまには、年2回の会報(あなたの支援で、どのような活動を実施できたのか)をメールか郵送にてお送りします。

単発でのご寄付

任意の額でご寄付いただけます。

【企業・団体賛助会費】1口 50,000円/年

ELNAへの支援を通じて海洋生物保全に寄与することができます。また、御社の社会貢献活動の方針に合わせて、様々なプログラムや企画などの立案・提供も可能ですので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

認定NPO法人 エバーラスティング・ネイチャー (ELNA)

TEL: 045-432-2358

住所: 〒221-0822 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川3-17-8 アクティパートⅡ4F

<http://www.elna.or.jp> info@elna.or.jp

ELNAが取り組んでいる、主な環境保全活動

ELNAの活動を一言で表現すると、『海ほんらいの力をサポートする』という言葉に尽きます。

海には本来、生態的に壊れた部分を修復する自然回復力が備わっていますが、世界的人口の急激な増加と経済活動の拡大が自然界に与える影響は大きく、その回復力が大きく妨げられています。

ELNAの保全活動は、そのメカニズムを調査することで解明し、『海に本来備わっている回復力』すなわち、『海ほんらいの力』をサポートすることに重点を置き、様々な活動を展開しています。

【関東周辺】 ストランディング調査と、講演やイベントの開催・出店

ストランディングとは『生死を問わず海岸に漂着や迷入して脱出できない状態』のことを言います。関東周辺では年間約200頭のウミガメが死亡漂着しており、日本全国の1/3にあたります。ウミガメの種類ごとの漂着数・雌雄の割合・食べているもの・放射能物質の蓄積など、ウミガメや海洋環境について調査しています。その他、調査の報告や海洋環境保全の必要性などを、主に東京近郊で講演やイベントを通して発信しています。



【小笠原諸島】 アオウミガメ調査と保全活動

小笠原諸島へ産卵にくるアオウミガメの産卵巣数調査や、ふ化後調査・標識放流調査・人工ふ化放流など、多岐にわたる調査を行なっています。また小笠原では昔からアオウミガメを食べているのですが、アオウミガメを保護しながら、食文化も継承していることとしている世界的にも珍しい地域です。アオウミガメは勿論のこと、そうした歴史も次世代に残せるよう活動をしています。



【インドネシア諸島(西パプア州)】 オサガメ調査と保全活動

西パプア州はオサガメの太平洋域最大の繁殖地ですが、オサガメの生息数が減ってきています。原因として、家畜として飼われていたブタが野生化し、卵がほとんど食べられていることがわかりました。そこで、卵をブタの食害から守るため、海岸とブタの生息地の間に電気柵を設置し、地域住民の協力のもと、卵を守るプロジェクトを行なっています。



【インドネシア諸島(ジャワ海)】 タイマイ・アオウミガメ調査と保全活動

インドネシアでは、ウミガメの卵を採取することは『違法』です。しかし、地元の漁師が、生活のために卵を密漁し販売しているのが現実です。

そこでELNAは、密漁する漁師たちを逆に『密漁から卵を守る監視員』として雇用することで、「ウミガメ」と「漁師たちの生活」の両方を守るべく活動しています。



寄付の使い道

いただきましたご寄付は、上記のウミガメの調査・保全活動に活用させていただきます。

単発のご寄付でしたら「小笠原のアオウミガメのために寄付したい」等、用途を指定することもできます。